



第 4 章 計画の目指すもの

第 1 節 望ましい環境像

第 2 節 望ましい環境像実現のための基本目標

第 1 節 望ましい環境像

環境基本計画が目指す本市の環境の姿を簡易に表現したものが「望ましい環境像」です。

第 3 章での本市の環境の特徴と課題、望ましい環境に対する基本的な考え方、重点事項等をもとに、本市の望ましい環境像を次のとおりとします。

飯山市の望ましい環境像

私たち飯山市民は、このまちを

おいしい水やきれいな空気に満ち、

“健康で安心して住み続けられるまち”にしていきます。

多様な生き物たちと共生し、

“ふるさとの自然が守り育てられていくまち”にしていきます。

歴史の趣きと静かなたたずまいを大切にし、美しい山河に囲まれた、

“四季の変化にとけ込んだ森のまち”にしていきます。

雪の利・活用など自然を活かし、市民一人ひとりが資源を大切にする

“循環型の暮らしを実践するまち”にしていきます。

自然と遊び、自然から学び、身近な環境や地球環境問題を意識して、

“市民が主体的に活動していくまち”にしていきます。

第2節 望ましい環境像実現のための基本目標

望ましい環境像を実現していくために、それぞれの環境像に基づき、次の5つの基本目標を掲げます。

望ましい環境像実現の基本目標

基本1目標

“健康で安心して暮らし続けられるまち”

『水や空気を大切に、健康で安全な環境と暮らしを確保していきます。』

水環境や大気環境は、市民生活に大きな関わりを持っているため、良好な状態に維持し、一層の向上を図ることが必要です。このため、水質汚濁、大気汚染、騒音、悪臭等公害の未然防止や監視、都市・生活型公害の是正対策やダイオキシン類を始めとする有害化学物質の危険性等の情報収集・発信などの取組みを進め、安全な生活環境を確保していきます。

基本2目標

“ふるさとの自然が守り育てられていくまち”

『森林・農地・河川が持つ多面的機能の保全と活用やまちの緑化をすすめ、人も含めた生態系の維持・創出を図っていきます。』

豊かな自然は、良好な状態で将来に引き継いでいく市民共有の財産であり、その適切な保全と活用を図っていくとともに、生態系の微妙なバランスは、多様な生物の働きによって維持されていることから、その多様性の確保に努めていきます。

また、人の手が加わることにより維持されてきた中山間地域の農地や森林は、水源のかん養、災害の防止、身近な生物の生息域、自然景観の形成要素など多様な環境保全機能を有していることから、自然と人が共に生きていくことができるよう、その適切な保全・管理と適正な利用に努めていきます。

基本3目標

“ 四季の変化にとけ込んだ森のまち ”

『歴史・文化・景観の保全・活用と、自然と人とのふれあいの場づくりをすすめて、まちの個性をみがいていきます。』

本市は、四季折々の自然に恵まれ、歴史や文化に彩られたまちです。これらを環境資源としてとらえ、その保全・活用に努めるとともに、地域の文化、風土などの特性を活かした“まち”の創出に取り組んでいきます。

また、都市化の進んだまち中の生活においても、人と周辺環境との関わりは大切であり、豊かな自然と一体となった景観の保全・創出、緑や水辺等の身近な自然空間の確保や人にやさしい都市施設の整備を進め、うるおいと安らぎを与える快適な環境整備に努めていきます。

基本4目標

“ 循環型の暮らしを実践するまち ”

『雪の有効活用をすすめるとともに、ライフスタイルを見直し、資源を大切に作る循環型社会をつくっていきます。』

豪雪地帯である本市は、雪と生活との関わりについても環境を保全していく観点からの取り組みが必要です。雪への接し方や暮らし方を見つめ直すとともに、雪を利用し、雪に打ち克つまちづくりを進めていきます。

また、省エネルギー・省資源への配慮、ごみの散乱のない美しいまちづくり、廃棄物の減量・リサイクル活動の推進や環境にやさしい製品の積極的使用など、ライフスタイルの変革を進め、地球環境問題への取り組みに繋がる循環型社会を構築していきます。

基本5目標

“ 市民が主体的に活動していくまち ”

『環境情報の収集・発信、環境学習・環境教育・環境行動の機会の提供と、人材育成や連携・支援のための仕組みづくりをすすめていきます。』

環境問題の解決には、市民一人ひとりの自発的な取り組みが必要です。このため、市民生活に密着した環境情報を提供するとともに、環境教育・環境学習を充実し、知識・理解から行動へと促すことにより、ともに考える施策を展開していきます。

また、日常生活や事業活動において、市民や事業者がそれぞれの立場で、又は協働で環境への配慮を実践していくことが必要であり、そのための手法や仕組みづくりに取り組んでいきます。